



はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト 2017 クロストーク「語りがたきものに触れて」at 福島県立博物館

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトは、東日本大震災後、2012年から6年間にわたり、文化芸術の力で福島県内外の諸地域、団体、人々と連携し、あらたな関係を生み出すこと、福島の状況を発信することを目的として活動を行ってきました。

震災から7年、福島の状況は復興が進む一方、今なお横たわる複雑な課題が見えてきます。

今回のトークイベントでは、こうした複雑な課題をはま・なか・あいづ文化連携プロジェクトに協力者として関わったお二人、久保田翠さん、小松理虔さんとともに考えたいと思います。久保田さんは福祉と文化芸術から、小松さんは地域にこだわる文化発信から既成の枠組みをゆるやかに拡張する試みを続けています。お二人の柔軟な思考から福島の復興が学ぶ点は多いはずです。

語りがたきものに触れて

クロストーク
語りがたきものに触れて
at 福島県立博物館

2018.2.15 thu
13:00 - 15:00
福島県立博物館講堂

久保田翠 × 小松理虔 × 赤坂憲雄

認定 NPO 法人
クリエイティブリポートレッツ 理事長

UDOK / ヘキサキ会 主宰

福島県立博物館長 /
はま・なか・あいづ文化連携
プロジェクト実行委員会 委員長

平成 29 年度文化庁地域縁の結となる美術館・歴史博物館支援事業
はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト 2017

文化庁

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

事務局 〒965-0807 会津若松市城東町 1-25 (福島県立博物館内)

Tel 0242-28-6000 (福島県立博物館代表)

Fax 0242-28-5986

担当: 塚本、小林



クロストーク「語りがたきものに触れて」 at 福島県立博物館

【日時】平成30年2月15日（木）13:30～15:00

【会場】福島県立博物館講堂（〒965—0807 福島県会津若松市城東町1—25）

【入場料】無料

【申込】不要

【主催】はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

【内容】

第1部 13:30～14:15

対談「レッツとUDOK.」

久保田翠（認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ理事長）× 小松理虔（UDOK./ヘキレキ舎主宰）

第2部 14:15～15:00

クロストーク「語りがたきものに触れて」

久保田翠 × 小松理虔 × 赤坂憲雄（福島県立博物館長/はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会委員長）

モデレーター 川延安直（福島県立博物館専門学芸員）

【講師プロフィール】

久保田翠：静岡県浜松市在住。障害のある長男の出産を機に、2000年にNPO法人クリエイティブサポートレッツ設立。2008年より、個人を文化創造の拠点とする「たけし文化センター事業」をスタート。2010年、障害のある人、子どもが毎日通う通所型障害施設アルスノヴァを設立。2014年、誰もが利用できる私設公民館「のヴァ公民館」解説。

小松理虔：福島県いわき市生まれ。報道記者、雑誌編集者、かまぼこメーカー勤務などを経て現在はフリー。同市内でオルタナティブスペース「UDOK.」を主宰し地域に根ざした様々な活動を行っている。共著に『常磐線中心主義』（河出書房新社）。思想家の東浩紀が編集長を務める電子書籍『ゲンロンβ』でも連載を続けている。

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト詳細はこちら→<http://hamanakaizu.jp/>

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

事務局 〒965-0807 会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)

Tel 0242-28-6000(福島県立博物館代表)

Fax 0242-28-5986

担当: 塚本、小林